

---

# Monster Carp Fishing in Japan

– Meeting –

Archives “11th – 20th”

MCF Japan  
[www.mcfjapan.net](http://www.mcfjapan.net)

---

---

目 次

第 20 回	2006 年 11 月 3 日	荒川	1
第 19 回	2006 年 5 月 20 日	荒川	4
第 18 回	2006 年 4 月 13 日～16 日	霞ヶ浦・利根川	10
第 17 回	2006 年 1 月 3 日	荒川	15
第 16 回	2005 年 10 月 22 日～23 日	霞ヶ浦	19
第 15 回	2005 年 5 月 14 日～15 日	利根川	25
第 14 回	2005 年 1 月 9 日	荒川	29
第 13 回	2004 年 9 月 18 日～19 日	北浦	35
第 12 回	2004 年 4 月 16 日～18 日	利根川	41
第 11 回	2004 年 1 月 24 日	荒川	47

---

### 第 20 回 2006 年 11 月 3 日 荒川

参加：ぼらひでさん、左たまごさん、mi○

20回目を迎えたMCFオフ会が、3日に荒川で開催されました。例年は11月ともなるとすっかり寒さが増してきますが、今年は気温が高いため、川原で気持ちよく過ごすことができました。そんな一日をmi○がレポートします。



いつものように、自転車での担ぎこみで現地に着いたのが朝7時過ぎ。水郷の車中泊釣行では便利グッズを車にワンサカ積み込んで行きますが、荒川の担ぎ込み釣行ではいかに持ち物を減らすかがポイントとなります。従って、到着後のセッティングもあつと言う間に終わってしまいました。しばらく経って、左たまごさんも到着しました。

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

本日は大潮前の中潮。10時の干潮の前後がアタリの期待が高まる時間帯です。それを待つ間、お互いの近況や、MCFメンバーの最近の情報、そして鯉釣り談議などに花を咲かせ、楽しく時間を過ごします。

朝は上着を着てちょうどいいくらいの気温でしたが、日が高くなるにつれて着ているものを一枚ずつ減らしていく日和となりました。釣り場のすぐ後にある野球場では、小学生の野球大会が開催されています。いつもは大人の草野球を見ているのですが、たまにはこうして子ども達の必死なプレーを見るのも楽しいものです。さらに驚くのが、子ども達の持っているバットです。今時は金属バットなど使っている子はおらず、みんなカーボン製のビヨンドバット。脅威の飛距離がでる高価なバットが、あたりまえのように使われる時代になりました。カーボン崇拝がまかり通る釣りの世界ですが、野球の世界でもカーボンが主流となったようです。今年から小学生の野球チームを指導している左たまごさんに、最近の学童野球のようすなど教えていただきながら観戦しました。

さて、期待が高まる干潮前後の時間を過ぎても、一向にアタリがありません。2時間おきにダンゴを打ち直してアタリを待ちます。ぼらひでさんの今日のタックルはシマノ野鯉500MHにAbu7000HSです。数々のタックルを使いこなした経験を持つぼらひでさんですが、このロッドは長い間使い続けている最も手に馴染んだタックルです。以前私もこのタックルのキャスティングをさせていただいたこ

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

とありますが、絶妙なバランスでした。ぼらひでさんが使い続けているのも納得できます。

午後になっても3人ともまったくアタリがなく、自然とお昼寝タイムとなりました。こんな暖かい日に川原で寝そべっているだけで幸せな気分になってきます。なんとなく今日はアタリを期待するのはやめて、一日のんびり過ごすことに切り替えました。

その後、次回からの荒川釣行ポイントについて3人で相談しました。ゴカイの季節になったら新天地を求めてチャレンジするのも楽しそうです。多少不便な担ぎ込みでも、ここの場所も所詮担ぎ込み。大差ないなら是非行ってみようということで話がまとまりました。

気が付くと、太陽がだいぶ西に傾いています。3時半、撤収開始。自転車にタックルを積み込んで川原を走りました。久々に釣果のないオフ会となりましたが穏やかな一日を過ごし、日頃の疲れが癒される釣行でした。

(レポート : mi○)

第 19 回 2006 年 5 月 20 日 荒川

参加：左たまごさん、ぼらひでさん、mi〇、新河岸専科さん（ゲスト）

1. オフ会前日の下見（ぼらひで）

オフ会前日の5月19日雨。それも結構本降り・・・カップを着込んで家を出る。9：30早速アタリ！今年、好調の1番竿だ。あまり重くないので60cm位の感じ。魚が浮き、ネットイン直前で針がはずればらしてしまう。今年になって竿を変更したがバラシやラインブレイクが続いている。やり取りが上手く出来ないし、仕掛けのバランスも悪い様な気がする。今日も早速バラシからスタート。

9：45、続けて2番竿にヒット！さっきよりまあまあの感じ。やり取りをはじめるとラインブレイク！またかあ・・・、先糸の途中からブツリ。昨年までの竿と感じがかなり違うので、昨年までの調子でやり取りをすると強引なやり取りになってしまうのだろうか？一匹目は恐らく口切れ。自分では慎重にやり取りしたつもりだったがきつと強引なやり取りになってしまったのだと思う。

その後13：30にアタリ！やはり1番竿だ。今度は慎重にやり取りをしてなんとかネットイン、75cmだった。その後、雲行きが怪しくなり撤収。夕方から大雨になった。明日は管理人殿をはじめとするMCFのメンバーが来る。雨があがって楽しく釣りができたらいいなあ・・・。

2. 不安と期待（左たまご）

何回かオフ会に参加させてもらって、皆さんの本物の鯉釣りをじっくり拝見してきました。しかしそれでも今回はかなりの不安がありました。それは「天候」です。今までは雨天での釣行を嫌っていた自分には、雨に対する対策が何一つありません。その一つに「センサー」があげられます。自作品の為、防水対策がされてないので雨天時での使用に耐えられるか疑問でした。前日まで色々考え、部品などを購入しましたが、最終的には「どうにかなるだろう」って事で何もしてませんでした。

いよいよオフ会当日、天候も何とかかなりそうでホッとし現地に向かいます。私自身オフ会での釣果がパッとしないので、今回こそは良い思いをしたいと期待に胸を膨らませ実釣開始。今回の目標は自分の記録85cmを超えることでした。

### 3. オフ会の朝（ぼらひで）

目が覚めると雨はあがっている。予報を確認すると天気は回復するようだ。管理人殿から若干遅れるとの連絡、栃木は大雨らしい。そうこうしていると左たまごさんはもう着いたとの事。管理人殿をおいてきぼりにして釣り場へ向かう（笑）。本日の餌はここのところ使っている「どすこい+コーン」だ。7：40セット完了、やや遅れて管理人殿が到着。

### 4. 実釣開始（mi○、左たまご）

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

今日は予想を裏切る快晴となり、強い陽射しが照り付けます。時折南風が吹きつけ、岸辺で竿を見ている私たちの帽子を飛ばそうかという勢いです。しかたなく帽子のツバを後ろ向きにかぶり、アタリを待ちました。これが後に悲劇を生むとは、この時誰も気が付いていません。待っている間は、いつものごとく最近の釣行談、タックル談に花が咲きました。さらにハリ結び研究会など3人でやっているうち、あつという間に時間が過ぎます。

11時30分、ぼらひでさんに待望のアタリ！今シーズンから使用している新竿「烈火MH455B」が円弧を描きます。慌てずに浮かせて取り込んだ鯉は70cm。この一本で、アタリの期待感が急に高まります。12時35分。今度はmi〇にヒット！寄せダンゴに遊動二本バリを付け、食わせにはコーンとボイリーを付けていました。上ってきた鯉を確認すると、コーンに食いついています。外道が比較的少ない荒川では、ボイリーよりもコーンの方が確実に釣果を期待できます。今回は75cmの重みのある鯉でした。





自分（左たまご）にとってなんとなく嫌な展開です。昔から複数で釣りに行くと自分だけ釣れないって事が多く、今回もその展開が頭をよぎります。しかしここは荒川、今までの江戸川よりは実績がある所なので、まだまだいけると自分に言い聞かせ心を落ち着かせます。

陽射しが腕と顔を照りつけ、GWに日焼けした腕が一段と焼けてきます。そんな中、自分のセンサーが鳴ってくれる事を祈りながらウトウトと昼寝をしていた時、念願のセンサーON！竿に近づくと、ぼらひでさんとmi○さんの時の当りのように糸が出ていません。竿先も風で動いてるのか魚がついてる動きなのかよく分かりません。??と思いつつながら竿を持ち軽く合わせを入れリーリング、やっとここで魚の感触が伝わり念願のヒットを確認。ぼらひでさんのアシストで無事にネットイン。これでボウズは免れました。

### 5. 新河岸専科さん到着（mi○）

その後、3時少し前にmi○が二本目をゲットし餌を打ち直しているところに、新河岸専科さんが到着しました。新河岸専科さんは、時々MCF掲示板に書き込みして下さっている草魚釣り師さんです。都合でこの時間からの参加になりましたが、わざわざ駆けつけてくださいました。初めてお会いしましたので挨拶後、さっそく準備に取り掛かります。草魚仕掛けに餌の葉を付ける作業。MCFの3人の目はこの作業に釘付けです。はじめて見る本物の草魚釣法はとても勉強になりました。そして、私どもの質問に対し熱心に語ってくださる新河岸専科さ

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

んの釣りに対する情熱とマニアックさは、とても共感するものがありました。



### 6. 納竿、その後（ぼらひで、左たまご）

そうこうしていると、サンシャイン60方面が急に暗くなってきた。「やばっ！みんなあ撤収だあ！！」 どんどん暗くなるのでみんなで必死に片付け、何とか釣り場を離れる。この時点では直ぐに雨が降りそうではなかったが、土手を越えてわずか1分後にポツポツと来た。管理人殿と話しながら自転車をこぐ。この時点ではまだ余裕。それから20秒位たっただろうか、ザー、それこそバケツをひっくり返した様な土砂降り！！ あっという間に全身ずぶ濡れ、もう笑うしかない！！ 帰宅後、風呂場で着替えてふと鏡を見るとおでこの途中から

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

下は日焼けで真っ赤！おでこの半分より上は日焼けしていない。やられた・・・。当然家族はそれを見て大笑い！まっ、笑い声が響く位楽しきやいいか！皆さん、又来てね！

一方、左たまごさんは・・・

夕方にかけて更なる期待が膨らみますが、何やら雲行きが怪しくなってきたので残念ですが皆納竿。片付けは間に合いましたが、駐車場わずか手前で土砂降りにあってしまい全身ずぶ濡れ。車内で着替えて帰宅となりました。今回は2ヒット1本の結果でしたが、江戸川に通ってたときと違い荒川は好成績です。今後も荒川通いは止められそうもありません。目標の85 cm UPもまだですし・・・何はともあれとても充実したオフ会でした。

第 18 回 2006 年 4 月 13 日～16 日 霞ヶ浦・利根川

参加：左たまごさん、煮込みマッチョさん、中ソンさん、地鶏オヤジさん、秋田さん、mi○

今年も春のオフ会シーズンになりました。mi○は永年勤続の特別休暇を取得し、ウィークデーから地鶏オヤジさんとともに一足先に霞ヶ浦に入釣しました。そして後半は参加メンバーが利根川に集結し、盛大に開催したようすをお伝えします。

4 月 13 日（木）午後、mi○は霞ヶ浦湖畔に到着。ウィークデーといってもさすがにベストシーズンとあって、春の名所には多くの竿が並んでいます。予定していたポイントに到着し、どこに竿を出そうかと考えていたところ、Hさんがちょうど車で来ました。Hさんは、数々の大物実績を持ち、雑誌でもお馴染みの有名鯉師です。暫く湖畔で歓談させていただき、楽しいひと時を過ごしました。

夕方前にセッティング終了し、簡単な夕食を済ませて車に潜り込んで本を読んでいるうちに、いつの間にか眠りに引き込まれてしまいました。

日付が変わって 14 日（金）深夜 1 時頃、仕事が終わって直行した地鶏オヤジさんが到着。mi○は深い眠りに入って気を失っていたため、それに気付くことができませんでした。地鶏オヤジさんはセッティング終了後、そのまま就寝。

この日は一日中北東の風が強く、外にいるのが辛いので、いつものように地鶏カーのお座敷にお世話になりました。すでにご存知とは思

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

いますが、地鶏カーの中では飲食はもちろん、DVDや過去の鯉釣り雑誌のライブラリーも楽しむことが出来ます。日中は強風にあおられてセンサーが誤作動するため、何度も直しに行くことになりました。そんな中、地鶏オヤジさんに待望のアタリ！可愛い鯉が吸い込み仕掛けにかかってきました。

夕方、mi○がエサの打ち換えをしようと竿に近づいたところ、ラインが交差しています。風のせいで流されたかと思って直していると、一本の竿に鯉が掛かっています。そういえばこの竿は、風でセンサーが入りにくいようにスイッチを少しくつめにしていました。そのため鯉はセンサーを入れられずにずっとmi○の来るのを待っていたのです。上げてみると、疲れきった73cmの鯉が姿を現しました。今シーズンの霞ヶ浦初鯉は、釣ったのではなく、釣れてしまった鯉でした。この日も喰いは渋く、このアタリを最後に静かな夜を過ごしました。

翌15日（土）の朝5時、久々に聞くセンサーの音でmi○が飛び起きます。ラインを引き出す勢いがあまり無かったので期待薄のまま取り込んだ鯉ですが、計測の結果80cm。まずは一本あげ、この後も期待が高まります。昨日から相変わらず風は北東から吹きつけ、時折波が護岸に強く打ち上げます。風の合間を見てエサを打ち換え、2時間ほど待機していた10時頃、再びmi○の竿にヒット。今回もラインを引き出す勢いがあまりありません。岸から10～15m付近に打ち込んだボイリーに食いついて来た鯉です。新作ボイリーでのアタリなのでいつもより嬉しく、より慎重に寄せて無事ネットイン。霞ヶ浦ら

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



しい85cmの白い鯉でした。霞ヶ浦ではその後さらに強風が吹き荒れてきたため、見切りをつけて利根川に場所を移動することにしました。周囲にいた鯉師もすべて納竿したようです。

一方、昨夜から利根川に入釣している中ソンさんと、煮込みマッチョさん。アタリはあるものの、まだ釣果はなし。左たまごさんは、今朝から日帰り釣行で入釣しました。左たまごさんはこれまで荒川オフ会のみ参加でしたが、利根川の釣りを一度見てみたいということで、今回の参加となりました。地鶏オヤジさんとmi〇は午後2時頃利根川に到着。さっそくあちらこちらのポイントを見て回り、決心して竿をセッティングしている最中に、煮込みマッチョさんから携帯に連絡が入りました。「今、中ソンさんに90がきました～」



中ソンさんの今シーズン初釣果がこの一本です。さすが利根川の青師中ソンさんです。初めて入ったポイントでしっかり結果を出しまし

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

た。テトラ脇を果敢に攻めたのが功を奏したようです。左たまごさんも、初めて見る利根川の大鯉にびっくり！

まずは大物が一本出たので一段落し、バーベキューの始まりとなりました。利根川も風が強く、冬に逆戻りしたかと思うほど気温も低いので、みんなしっかりと防寒着を着込みました。さらに車を風上において防風壁がわりにしてしのぎます。腸詰ソーセージ、ステーキ、地鶏、ホルモン焼など次々と出てくる美味さに、厳しい天候などすっかり忘れてしまいそうです。



夕暮れ時を前に、左たまごさんは所用があつて納竿。ご帰宅前に皆で記念撮影しました。

さて、バーベキューはそのまま夜まで続き、盛り上がっている9時過ぎに秋田さんが到着。秋田さんは2年ぶりのオフ会参加になります。いつものように慎重にポイントを見極め、竿ごとにエサの投入距離を正確に合わせ込みました。この緻密さが過去の数々のモンスターゲットの秘訣ではないでしょうか。秋田さんもセッティングが終了し、バーベキューも終了した0時前、それぞれの車で就寝となりました。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

16日(日)夜中の3時、さっそく秋田さんにアタリがあります。竿をセットしてからたった3時間あまりですぐにヒット。秋田さんにはいつも大鯉の釣り方の手本を目の前で見ていただいているのですが、どうしてもマネをすることができません。天性のものを備えているにちがいありません。上ってきた鯉は丸太のように胴の太い85cmの鯉でした。

さらに朝の9時少し前に、またまた秋田さんにヒット！ポイントの読みがバッチリ当たったことが証明されました。今度も良型の80cmの鯉でした。秋田さんを見ていると、鯉釣りがとても簡単のような錯覚を起こしてしまいます。

その後間もなく納竿した中ソンの帰宅前に、皆で記念撮影。そして順次解散となりました。菜の花が真っ盛りの利根川で、今年も盛況のうちにオフ会が終了しました。

(レポート：mi○)





### 第17回 2006年1月3日 荒川

参加：左たまごさん、ぼらひでさん、ユウ君、mi○

MCF冬のオフ会は正月の3日、荒川にて開催されました。毎年ゴカイを調達してくれるぼらひでさんから「今年は入手が難しい」との連絡があり心配されましたが、前日までのぼらひでさんの努力により、なんとか入手することができました。年末の各地の大雪の影響でしょうか。国産ゴカイの流通量が非常に少なかったようです。



参加予定だった煮込みマッチョさんは年末から風邪をこじらせ静養、そしてMCFの「Friends」のコンテンツでお馴染みのシルヴァンさん（フランス）は仕事の予定が急遽変更になり残念ながら不参加となりました。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

朝 9 時過ぎに荒川に集合し、一投目を打ったのが 9 時 4 5 分。miO が 2 本目の竿を投入準備していると、すかさず一発目のアタリ。「早いなー！」と思いながら竿を手に取ってリールを巻くと、「やってしまったー！」 新年の一匹目はボラでした。さらに 10 分程するとまたまた miO にヒット！今度は間違いなく鯉の手応えです。2006 年の初鯉は 65cm の綺麗な鯉でした。開始早々に一本上げて、まずは一安心です。

風もなく暖かな天候になり、河川敷では正月らしく凧上げを楽しむ家族が見られます。アタリを待つ間、ぼらひでさんのタックルを見ると何やらリールの様子がいつもと違います。昨年 11 月の釣行の際、川原で自転車が倒れた拍子に曲がってしまったリールのハンドルが、パワーハンドルに代わっていました。マニアの間で人気の T-project 製のパワーハンドルです。赤のハンドル ノブにはベアリングが使用されて、スムーズな感触が持ち味だそうです。



11 時過ぎ、橋脚の下流側にエサを打ち込んだぼらひでさんの竿に待望のアタリ！竿を手に取ったぼらひでさんは、「感触が鯉と違うか

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

も・・・」と感じながらリールを巻きます。パワーハンドルはスムーズに回転し、あっという間に寄ってきたのは鯉に似た魚（ニゴイ）でした。残念！ちなみに、鯉に似たのにはなかなかいいサイズ。見様によってはスマートな霞の鯉に見えなくもないが・・・。

さらに20分ほど経ち、今度は左たまごさんの自作センサーが鳴り響きます。駆け寄ると愛竿「大鯉専科」の穂先が食い込みます。明らかに鯉のアタリ！慎重に寄せ、ぼらひでさんがタモ入れ。上ってきた初鯉は、55cmの元気な鯉でした。初鯉を手にして思わずニッコリする左たまごさん。今年も楽しい鯉釣りができそうな予感がします。



昼はぼらひでさんが持参してお雑煮や鍋を温めて、みんなでつつきました。食べているうちに、それまでの天気がウソのように次第に陽が陰り、突風が吹き抜けます。紙コップや割り箸などが風で飛ばされるようになったので急いで片付け、脱いでいた防寒着を再び着込んでしのぎます。

潮が下げ止まりになった頃、3人でゴカイ掘りに挑戦。水が引いた跡の石をどけると、土に小さな穴が点々と見えます。このひとつひとつ

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

つの穴の中にゴカイが潜んでいます。土を掘り返してみると、今年は小さなゴカイばかりで、10cmを越えるような大型は見当たりません。それでも買ってきたゴカイに比べると明らかに生きの良さが違います。

3時過ぎ、再びmi○の竿にヒット！根掛かりにラインが擦れている感触があったので、無理に寄せることはせずに鯉を浮かせ、弱らせてから一気に引き寄せました。左たまごさんにタモ入れしていただき、嬉しい2匹目の鯉（74cm）をゲットすることができました。



このころから陽がさしはじめ、風も穏やかになりました。その後アタリが続かなかったので、4時に過ぎに納竿。夕焼けに浮かぶ富士山のシルエットを眺めながら河川敷を帰りました。

今年も一年、みんなで楽しい釣りができますように。

(レポート：mi○)

### 第 16 回 2005 年 10 月 22 日～23 日 霞ヶ浦

参加：煮込みマッチョさん、地鶏オヤジさん、トム石井さん、mi○

恒例のMCF秋のオフ会は、霞ヶ浦で開催しました。日程が大会と重なったため、大会に出場している方とハチアワセにならないよう、鯉師があまり入らないポイントで開催することにしました。MCFメンバーは、仕事に家庭に多忙を極める年代に突入していて、なかなかスケジュール調整が難しくなりつつあります。そんな中、4名の参加で開催したようすをレポートします。

最初に現地入りしたのは煮込みマッチョさん、次にmi○、地鶏オヤジさんと続き、最後にトム石井さんの順となりました。以下、mi○と煮込みマッチョさんの文でお楽しみ下さい。



### 1. オフ会序盤 (煮込みマッチョ)

10月21日(金)夜、久しぶりに見る霞ヶ浦の水は暗闇でライトを照らすと、やはり濁っている。以前はバス釣りでよく通ったが、鯉釣りに来たのは実は初めてだ。日曜日まで大会とのことだが、この辺り一帯で竿を出しているのは今のところ少し離れた流れ込みでやっているひとりだけだ。地鶏オヤジさんは明日の昼頃、トム石井さんも仕事が遅くなるので出発が遅れるとのことだった。

一通り竿を出し終え底を探っているとmi○さんが到着。私は水門の右側、mi○さんが左側に釣り座を構えた。

コマセを撒き終わった深夜1時半頃に地鶏オヤジさんが到着。予定より半日も早かった。仕事の都合で今回が今年最後の釣行となるため、気合を入れて寝るのを後回しにしたとのこと。凄い。地鶏さんが準備を進める間、mi○さんも竿を出し終え、少しの間三人で話をしたが、時間が時間だけにとりあえずそれぞれの車中で寝ることにした。

雨の音で目が覚めると9時を過ぎていた。天気予報は大ハズレだ。電話の天気予報に掛けてみるとこの地方は今日は曇りとのこと。しかも降水確率は20%。これだけ降っているのに何だか間が抜けている。日が差さないので寒さを感じるし、外に出たくないと思ったが、隣の地鶏さんが外で活動している。元気だなあ。そこへトム石井さんからメールが入った。今日の昼頃到着予定とのことだった。

外に出てみると意外に冷え込みはなかった。何と地鶏さんに早くもアタリがあり、60台が上がったとのこと。私が見るときはいつも結

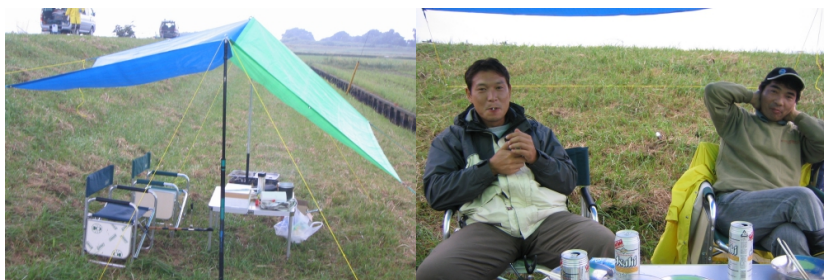
果を出す地鶏さんは本当に凄いと思う。と同時に、すぐ隣なのでこちらも期待が高まる。

そのまま餌チェックのため打ち換えとコマセ撒きをする。雨は時々強まったり止んだりの繰り返し。雲は早く流れていき時折雨雲がなくなりかけることもあるが晴れる気配がない。今日はこのままの天気で行きそうだ。

### 2. オフ会本部設置 (mi○)

昼頃トム石井さんが到着しました。mi○がさっそくバーベキューの準備に取り掛かりましたが、天気は相変わらず降ったり止んだり。

「こんな時タープがあればいいなあ・・・」と考えていたところ、地鶏オヤジさんが「ビニールシート使いましょう」と切り出しました。広げてみたところ少し小さいようです。元々、釣った鯉を乗せるのに使うシートですから仕方がありません。そこへ今度は煮込みマッチョさんが、「それじゃこれも使ってください」とビニールシートを出してくれました。2枚を結束バンドでつなげ、さてどう立てようか・・・そうだ、使っていないタモの柄があるじゃないか！これを2本使い、水汲みバケツ用のロープを出し合い、ペグも持ち寄ってみごとに完成！な～んだ、タープはなくても釣り用品を持ち寄れば出来てしまうんだ（笑）見た目はイマイチでも、中は快適です。天気を気にしないで楽しく歓談しました。



### 3. いよいよ佳境（煮込みマッチョ）

そんなバーベキューの最中、トムさんが「あ、来た！」と叫んだ。私の竿のからクリック音が聞こえた。竿のところに行ってみると、ドラッグを緩めてあるにもかかわらず糸の出は止まっていた。「外れたか？」一瞬嫌な思い出が頭を掠めた。手でリールから糸を引き出して送り出してみる。スーッとゆっくり張っていく。魚は付いているようだ。竿を持って合わせる。一気に嬉しさがこみ上げてきた。久しぶりの感触。なかなかの重さだ。横で地鶏さんが「みんなが見るところで釣れていいねえ」などと呟くので大笑いしながら糸を巻き上げる。雨で濡れて護岸が滑りやすいので堤防の上からやり取りすることにして、トムさんが下で玉網を持って構えている。重さはまあまあだがあまり走らない。相手が沖のほうへ向きを変えて頭を振っている感触が伝わってきた。今シーズンはこれでバラすことが多かったため、嫌でも慎重になる。少し糸を出したが、それ以上走らないようなのでそのまま寄せる。浮き上がってきたのは80を超えていそうな鯉だった。



## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

ここ三ヶ月ほどほとんど鯉を見ていないのでやけに大きく感じる。トムさんが無事にネットインしてくれて、ひと安心。地鶏オヤジさんが貸してくれた計測台で測ると86cmだった。初挑戦の霞ヶ浦で納得できるサイズにもう満足だった。



その後バーベキューは続くが、夕方になり雨も上がったのでどうしてもやりたかったウキ釣りに挑戦。mi○さんからケミホテルをいただき暗くなってもしばらく続けたが、予想通りアメリカナマズの猛攻に遭い、断念した。

夜になりやっと晴れ間が出てきて星が見えるようになった。風は静かなのでそれほど冷え込みは感じない。何より四人でひとつの目的を共有しながら火を囲むのは格別の思いだ。食べるものも特別に美味しく感じるのはいつものこと。

### 4. 最終日 (mi○)

22日(日)は前日の天気とは打って変わって秋晴れ。昨夜から今朝にかけて地鶏オヤジさんは4回アタリがあつて、70～80cm台

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

を3本あげたそうです。さらに8時前、トム石井さんに待望のアタリがありました。護岸カーブをねらって出した竿に見事にヒット！7月以来の釣りとはいえ、勘は全く鈍っていません。尾びれが発達した70cmの鯉でした。

11時前、地鶏オヤジさんにヒットしましたが、目の前まで寄せたところですっぽ抜けてしまいました。やや気落ちした地鶏オヤジさんに、再びヒット！今度は慎重に取り込んで無事ネットイン。78cmの良型でした。直後に煮込みマッチョさんにヒット！こちらも75cmの良型でした。

地鶏オヤジさんはその後もアタリが続き、結局2日間で10回アタリがあって7本の釣果となりました。お見事！



今回のオフ会は、初日は昼から夜までバーベキューで盛り上がり、2日目はアタリ続きに走り回るといふ、メンバー同士の交流と釣果が両立できた結果となりました。えっ？mi〇の鯉はどれかって？約一名、蚊帳の外でした（笑）

## 第 15 回 2005 年 5 月 14 日～15 日 利根川

参加：煮込みマッチョさん、地鶏オヤジさん、トム石井さん、mi○

これまで毎年4月に開催していた春のオフ会ですが、今年はメンバーの都合により5月に利根川で開催することになりました。もちろんターゲットは青魚です。昨年の春のオフ会も青魚狙いの利根川開催でしたが、結局鯉のみの釣果。今年こそはと仕掛けも入念に準備していき利根川へ！

14日の深夜1時半、私(mi○)は煮込みマッチョさんと利根川近くのコンビニで待ち合わせしてポイントに向かいます。到着時は5月とは思えない冷え込みに驚きましたが、ここぞと思うポイントに二人で竿をセットし、少し明けかかってきた空を眺めながらシュラフに潜り込みました。

朝までセンサーが鳴ることもなく熟睡し、やがて陽の眩しさに目が覚めます。車から出て少し景色を眺めていると、川原の道を野うさぎが元気に走っていったり、イタチが草むらの獣道をすばやく駆けて行ったりと、日常では見られない光景が次々と繰り広げられます。川は様々な生き物を懐に抱きながら流れています。

顔を洗ってスッキリした後、車からテーブルや椅子、そして今日使用するバーベキューコンロや炭などのアウトドア用品一式をおろしてセット。今回のオフ会参加者は比較少ないものの、やはり炭火を囲んで歓談するのは最大の楽しみです。しばらくしてコーヒーを入れ、煮込みマッチョさんを誘って二人で味わいました。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

昼頃、地鶏オヤジさんが到着。今回はタニシダンゴとタニシ食わせエサで挑みます。アオ師の中には、通年このタニシダンゴで青魚を仕留めている人もいます。はたしてこのポイントでも通用するでしょうか。また、普段70cmのタモで鯉釣りをしている地鶏オヤジさんですが、今回に限っては青魚狙いということで80cmタモを準備してきました。

地鶏オヤジさんがセットしている最中に、トム石井さんからメールが入り、オフ会に顔を出すとのこと。所用により竿を出すことはできませんが、自宅から比較的近いポイントということもあって陣中見舞いに来てくれるそうです。それならばということで、夕方に予定していたバーベキューを、トムさんも交えて急遽昼に行くことにしました。



午後3時頃バーベキューを終了してトム石井さんは帰宅し、それぞれ車で休憩していたところ、地鶏オヤジさんに待望のヒット。上ってきたのは70cmクラスの鯉でした。その後夕暮れ時の6時45分、mi○のリールのクリックが元気に鳴り響き、ミチイトが引き出されましたが、竿を持った瞬間バレていました。残念！ さらに今度は煮込

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

みマッチョさんにヒット。一定のスピードで延々とミチイトを引き出し、ひたすら沖にむかって走っています。川釣りでは「鯉の走りは横、アオの走りは沖に向かう」と言われますので、これはオフ会史上初の青魚かと期待を抱きます。マッチョさんの筋肉質の体と獲物との闘いが、剛竿メーター倶楽部巨鯉HHを大きく曲げます。私はそばでタモをもって、魚体が浮くのを心待ちにしています。ところが、突然フツと穂先が戻りミチイトのテンションが緩みました。痛恨のバラシです。それまで高鳴っていた鼓動が、一瞬にして落胆に変わってしまいました。

翌15日の早朝、えさ交換をしようとしていた地鶏オヤジさんに2匹目の鯉がヒット。一匹目よりやや小型につき、すぐにリリースしました。さらに3時間ほどして3匹目の鯉がヒット。これも優しくリリースしました。タニシダンゴはやはり鯉の寄りが早いようです。午後になって、「淡水大魚研究会 春の大会」帰りのKBさんが訪問してくださいました。初対面の私は挨拶後少し歓談させていただき、大会の様子などを伺いました。



## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

その後、一同さっぱりアタリがなく、それぞれの都合にあわせて納竿となりました。日本を代表する雄大な流れ”利根川”。ここに潜むモンスター青魚には、またしても出会うことはできませんでした。しかしそのモンスターへの憧憬は一向に衰えることはなく、新たな闘志を抱いて利根川を後にしました。

(レポート : mi○)

### 第 14 回 2005 年 1 月 9 日 荒川

参加：左たまごさん、煮込みマッチョさん、中ソンさん、地鶏オヤジさん、ぼらひでさん、mi○

今年も来ましたゴカイの季節。荒川での1回目のバチ抜けは例年よりも10日ほど遅い12月30日にありました。ここまでゴカイでの好釣果の情報が伝わってこないのは、このバチ抜け時期の影響が少なからずあるのかもしれませんが。そんなことはお構いなしに、恒例のM C F冬のオフ会は6名の参加で開催されました。今回は6名が並んで入釣り、しかも少しでもアタリが多そうなオフ会場所を開拓しようと、ぼらひでさんはポイント探しに奔走してくださいました。



6時半、ぼらひでさん邸に集合したメンバーは地鶏カーに乗り込みいざ荒川へ。ポイントに到着すると左たまごさんが既に到着しており、まずは新年のご挨拶。続いてジャンケンで勝った順に好きなポイントを選んで竿をセッティング。上流側の橋脚下に竿を出したmi○から下流に向かって地鶏オヤジさん、左たまごさん、煮込みマッチョさん、

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

中ソンさん、そして今回ホスト役のぼらひでさんの順となりました。川岸は写真のように綺麗な護岸となっていて、足場のいい場所です。

左たまごさんは多趣味で無線にも詳しく、今回小型無線機を改造したヒットセンサーを披露してくれました。オフ会まであまり時間がとれなくて簡易改造で今回望んだそうですが、それでも十分すぐれた性能をもっているようです。今後さらに凝った改造をするとのことですから、次回お会いする時さらに楽しみです。

そのセンサーがセッティング直後に鳴り響きました。「おーっ、はや〜い！」期待が集まる中姿を見せたのは鯉クンよりもスマートなマルタウグイでした。ざんね〜ん！！



8時45分、今度はmi〇にヒットしました。ちょっと離れた橋下まで駆け寄り、慎重にやりとりした結果、60cmの初鯉。エサが豊富なのか、今年の荒川鯉は例年に比べて一段とお腹が膨れています。

体長のわりには体高が異常にあって、ヒゲがなければ 巨大なヘラブナかと思ってしまうほどの体型でした。

続いて9時ちょうど、買い物に行っている最中のぼらひでさんの竿にヒット。糸が出されないのでぼらひでさんの帰りを待っていました。帰ったぼらひでさんが巻き上げると、写真のようにスマートな魚が顔

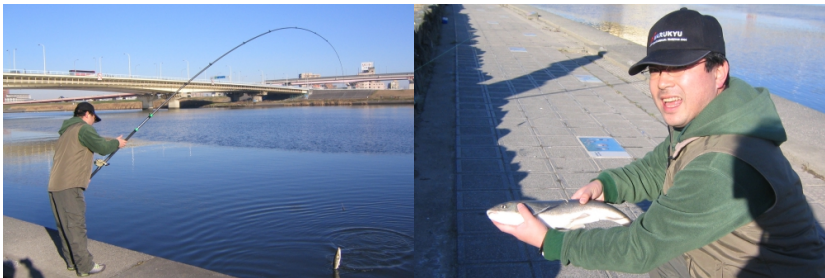


## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

を出しました。「これはマルタじゃなくて、アオウオの稚魚ということにしようよ（笑）」

「アオウオの稚魚はマルタって言って、大きくなるとアオウオって呼ぶんだよ（大笑）」自分達で勝手にアオウオを成長とともに呼び名が変わる出世魚にしてしまいました。（←よい子のみなさんへ・・・これはウソです。）



さらに9時20分。mi○の竿にヒット。竿を持つと掛かりに入ったいやな感触。ラインを緩めたり色んな方向に煽ったりを繰り返し、掛かりから魚を引き出すことに成功 「よーし、抜けたー！」 と思ったが手応えが鯉ではない。「やっちゃったー、マルタだー」 後で地鶏オヤジさんから「マルタさえも掛かりから引き出す男」とお褒め頂きました（大笑） アタリはまだ続き9時50分、mi○の竿を絞ったのは70cmの元気鯉でした。

午前中は陽が高くなるにつれてポカポカ陽気となりました。地鶏オヤジさんと中ソンさんは芝生で昼寝。潮の下げ止まりとともにアタリも止まったので、少し早めにおでんを温めてみんなでつつき、鯉釣り

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

談義やお互いの近況について話に花が咲きます。さらに 何種類もの鍋物や煮込み、そして定番メニューの地鶏やホットコーヒーまで出てきて満腹、満腹。 シングルバーナーを合計3つ持ち寄り、鍋やケトルを持ち込めばこの人数でも温かいものを十分飲食できます。こうして午後の地合まで楽しく過ごしました。



再び潮が動き出した12時20分。地鶏オヤジさんに待望のアタリ！ 石鯛竿がキューンと絞り込まれ、明らかに鯉の引きでいい感じ。ぼらひでさんがタモを持って駆け寄り、鯉が浮き上がるのを待っています。十分に鯉とのやりとりを楽しんだ後、そっと手前に引き寄せ無事にネットイン。地鶏オヤジさん今年の初鯉は75cmの重量感ある立派な鯉でした。

1時少し前、それまでのポカポカ陽気が一転して北からの突風が吹き始めました。橋下は特に激しく風が通り過ぎ、mioの竿が煽られセンサーが入ります。それを直しているうち、今度は下流側の煮込みマッチョさんも風でセンサーON。さすがに北風は冷たく、身にしみまです。脱いでいた上着を再び着込んでなんとか対処。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



2時頃、またまたmi○のセンサーが入りましたが竿を持ってちょっとアワセた直後、フツと軽くなってラインブレイク。橋脚付近にはゴツゴツした石が多く沈んでいるため、鯉が走るとラインが擦れてダメージを受け易いようです。またほぼ同じ頃、ぼらひでさんにもアタリがありました。どうやら痛恨のスッポ抜け。さらに立て続けにmi○にアタリがあって、今度は63cmの鯉でした。



2時半頃、煮込みマッチョさんが穂先を曲げながらリールを巻いていたので、カメラを手にして急いで駆け寄ると、上ってきたのはラーメン袋・・・う～ん、残念！それでも明るくケラケラ笑う煮込み

マッチョさんに、周りも自然になごみます。

3時ちょっと前、中ソンさんに待望のアタリ。実はアオ師の中ソンさんは、今回の仕掛けはアオウオ用のヘビーな仕掛け。巨大なハリに、これでもかというほどゴカイを房掛けし、一投目で配布されたゴカイ

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



1パックがなくなるほどでした。朝エサを投入してそのままほっといて、かれこれ7時間も経過しています。皆に「もう空バリになっているだろう」とか「空バリに食いつく鯉がいるんだ」などとから

かわれながらも、65cmの初鯉を手にすると思わずニコリしてしまいます。サイズだけではない喜びがこのオフ会にはあるようです。

アタリに恵まれない煮込みマッチョさんは、橋の上流側に場所移動。



一度アタリがあったものの掛かりに入られ痛恨のバラシ。それでもめげることなく、昨年開発した南方宙吊りの構えでアシ際を攻めるなど、モチベーションの高さに頭が下がる思いです。

こうして楽しい中、オフ会も終了の時間になりました。それぞれタックルをしまい込み、再会を誓い合って家路につきました。

これでオフ会のレポートを終了します。

(レポート : mi○)

第13回 2004年9月18日～19日 北浦

参加：煮込みマッチョさん・地鶏オヤジさん・カズ・mi○

MCF恒例の秋のオフ会は4名の参加で北浦にて開催されました。第7回オフ会以来2年ぶりの参加のカズ(mi○の長男)、煮込みマッチョさん、地鶏オヤジさん、そして私mi○の楽しい2日間をレポートします。



1. 地鶏オヤジさんの釣果 (mi○)

17日(金)の深夜、現地に一番乗りしたのは地鶏オヤジさんでした。次にmi○親子は日付が変わった18日(土)の午前1時頃到着しました。乱杭が並ぶポイントだけに慎重に杭の位置をライトで照らして確認し、竿掛けの場所を決定します。すべての餌を打ち込み、コマセ

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

を撒き終わったのが2時を回った頃で、ベッドに落ち着いたのは2時半になっていました。数時間後の夜明け近くにアタリがあるのを祈って眼を閉じます。

何やら車の気配で眼が覚めた時、すでに陽は高くなっていて煮込みマッチョさんが竿をだそうとしていました。少し前に到着した時に、ちょうど地鶏オヤジさんにアタリがあって60cm台ゲットに立ち会ったそうです。煮込みマッチョさんは深夜まで仕事をしたあと、タニシを探していて朝の到着となったそうですが、眠気も見せずに元気にセッティングしています。

10時半、地鶏オヤジさんにアタリが続きます。大きく竿を曲げた鯉は煮込みマッチョさんの持つタモにすくわれ、検寸の結果88cm。丸々と太った鯉はまさに北浦特有のデブ鯉です。昨年の秋からのKHVの影響はまったくなく、美しい魚体は私達を安心させてくれました。



朝から昼にかけて気温はぐんぐん上昇し、9月の中旬だというのに夏を思わせるような陽気となりました。風は南から吹きはじめ、少し湖面が波立っています。午後に入ってアタリは途絶えています。

### 2. カズの釣果 (カズ)

午後になると南風が吹き波も強く釣れそうな予感がした。しかし気温が30度ぐらいいはあったせいか魚は釣れない。天気が曇りぐらいいで気温がもう少し低ければなあ・・・なんて考えているともう夕方になった。「暇だし ウキ釣りでもするか！」 4、50分ぐらいい釣りををした時、ちょうどコンビニに行っていた地鶏さんが帰ってきた。アイスクリームを買って来てくれたので いただいでのんきに食べているとウキが沈んでいる。急いでアワセると竿が根元から大きくしなった。溪流竿で釣りをしていたのでやり取りがとて面白い。右手にアイスクリーム、左手に竿を持っていたので叫んで助けに来てもらった。笑いながら皆が来てくれた。父にアイスを手渡して竿を右手に持ち替え、岸によせ網に入れた。「ウキ釣りも釣れるとやりとりが面白い」なん



ていいながら記念撮影。

アイスクリームを食べながら釣りをすると釣れる？なんて話しながら釣りを続けた。(←これぞアイスクリーム釣法？)

少し経つとアタリが来た。さっきよりも竿のしなりが大きく、引きが強い。「あっ」と思ったときには近くの杭に巻かれてしまい逃げられてしまった。「アア、もったいないことしたなあ・・・逃げた魚は大きいって言うしなあ」。その後は全くアタリが来なくなりました。でも1匹釣ったし良かった、良かったとひとまず納竿。

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

夕食はみんなでバーベキューを楽しんだ後、疲れていたのも早めに寝る事にした。前日、夜遅くに釣り場に到着し少し疲れ気味だったのですぐに寝てしまう。「少し風も吹いていたし今晚はつれるか？」と考えながら寝てから2時間後、センサー音で眼が覚める。5から9番が自分の竿だが、センサーは6番と表示されている。「来た！」靴を急いで履き、竿の元へ行く。糸が出て行くのを確認した後、竿を取ってアワセた。魚は一度必死に逃げようと走っていったが疲れたのか簡単に岸によって来た。網ですくってもらい大きさを測った結果、”64cm”とサイズはまあまあだったが十分楽しめた。2年ぶりの北浦の鯉に満足。記念にと写真を撮るとき魚を持つと「重い・・・」。北浦の鯉は川の鯉と体型が違い重さも違った。2年ぶりに釣ったということもあるが重く感じた。そのあと、すぐにリリース。車に戻り寝る前に「今夜は何かが起こる・・・」と予感がした。

その予感が当たりまたセンサーが鳴った。時計を見ると午前1時40分。風も強く波もあったので、「もしかして・・・」と思いながら竿の元へ走っていく。アワセた時、さっき釣った鯉の時と感覚が少し違った。糸が勢いよく出て行く。鯉も必死に逃げ、右に走ったり左に行ったりしたが、少し経つと疲れきったのか岸に寄ってきた。網の中にある鯉を見たとき大きく見えた。大きさを測ると、”74cm”





自己記録更新！「いや～、自分でタニシ採ってきて、針に付けて、撒いて、そして釣れて良かったなあ」と思いながら記念撮影。あの嬉しさと重さは忘れない。今度は「目指せ！80cm台」という目標ができた。

### 3. mi○の釣果 (mi○)

カズに2本のアタリがあって、正直ホッとしてベッドに戻りつつ今度は自分の番かなあと少し期待するのでした。午前5時少し前、空も少し明るさを帯びてきた頃、期待通り4番の竿にヒット。アワセた時はさほどの手応えもなく、「あらら・・・」とっていると、突然ドラグがギー！数回ラインを激しく引き出します。ん～♪これが最高の瞬間。



慎重にタモ入れし、息子に手伝ってもらいながら検寸すると89cm。90台には乗らなかったものの、親父の面目を果たす一本に満足です。息子に記念撮影してもらいました。

### 4. マッチョさんの釣果 (mi○)

こうして夜が明けると、今日も気温がぐんぐん上昇します。カズと私に続き、煮込みマッチョさんもウキ釣りを始めました。自称アオ師のマッチョさんですが、なんで延べ竿が車に入ってるの？ まあ色々

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

疑惑はありますが、無邪気に楽しむマッチョさんを見ていると、こちらも次第に楽しくなってきます。一度ハリスを切られ悔しい思いをした後、ついにやりました。マッチョさんのウキを沈めたのは綺麗な鯉



でした。「延べ竿で鯉を釣ったのなんて何年ぶりだろう♪」と喜ぶ笑顔を記念撮影。えっ？鯉っ子だって？いえいえ、マッチョさんの体がでか過ぎるので錯覚しているのでしょうか（笑）

午後のアタリを待って3時過ぎに一斉に納竿しました。その最中にmi○に最後の一本がヒット！60cm台の元気な鯉に感謝しつつリリース。今回はぶっ込みあり、ウキ釣りありで大いに盛り上がったオフ会でした。こうして解散・・・のはずでしたが、実はマッチョさん、翌日も休みだったため帰宅途中で急に利根川に曲がったそうです。もちろん一晩竿を出したのです。釣果ですか？それは、聞かない、聞かない・・・（笑）

第 12 回 2004 年 4 月 16 日～18 日 利根川

参加：ぼらひでさん・煮込みマッチョさん・秋田さん・山羊ちゃん・中ソンさん・H野さん・地鶏オヤジさん・mi○

1. 現地入り (mi○)

今年のMCF春のオフ会は利根川で開催されました。毎年春は霞ヶ浦で開催していましたが、今年は鯉釣り大会と日程が重なりましたので、大会参加の皆様のご迷惑にならないようにと大会会場以外にしました。さて利根川といえば鯉はもちろんですがどうしてもアオウオを狙ってみたいくなります。メンバーの内数人はすでにアオウオを上げた実績があるのですが、私(mi○)も含め多くのメンバーはまだ上げたことがありません。そんなわけで、参加者はいつもの鯉用仕掛けよりも丈夫なアオウオ仕掛けを準備して利根川に向かいました。

16日(金)の夜、最初に到着したのは私でしたがはじめてのポイントのため、どうしても河川敷におりる道が分からず、30分ほど中ソンさんとひでさんの到着を待つことになりました。中ソンさんの案内で目指すポイントに到着し、竿をセットし終えたのが22時過ぎでした。まもなく地鶏オヤジさんが到着。オフの間に新車に交換し、ピッカピカのハイエースでやってきました。さらに24時頃に煮込みマッチョさんも到着。みんなセット終了したところでこの夜はとりあえず就寝となりました。

17日(土)早朝、地鶏さんにヒットした鯉は60cmクラス。すぐにリリースして次のアタリを待ちます。私はセンサーが入ったわけ

ではないのですが早く目が覚めました。地鶏さんと朝の挨拶をし川岸に降りた時、ぼらひでさんの竿の穂先が動いています。しかし深く食い込むこともないため二人でちょっとようすをみていました。そしてらちようどセンサーONし、ぼらひでさんが車からでてきました。

### 2. やっちゃったよ (ぼらひで)

17日(土)朝6時半頃、センサーが入る！ドクンドクン、ドキドキドキ！慌てて竿に向かうと「あれっ？」穂先は確かにピクピクしているがセンサーから道糸が外れていない・・・「やっちゃったよ・・・ナマズだ・・・」

タシニが思うように採れなかったので買ってきたドブ貝の剥き身にきた。自分の昼食代より高いのにい(笑)

気を取り直し、今度は剥き身にしないで貝に穴を開けて糸を通し針につける。「今度こそ・・・」と願いを込めて投入する！

### 3. 16号です！(煮込みマッチョ)

土曜日の午後、中ソンさんが私のベイトリールに巻いてあるラインを見て「これ、ふっといですねえ！！」と目を丸くした。一抹の不安を覚えながらも私は笑顔で「16号です！」と答えたが、実は以前から不安ではあった。50キロを超える大物を想定すればこのくらいのラインで丁度いいと思う半面、あまり太いと食いが悪くなるのではないかと。中ソンさんは私のそんな迷いを見事に突いてきた

のだ。さらに、私と同じように太いラインを使っていた人が、細くしたら釣れるようになったとも。今まで釣れなかった最大の原因は太すぎるラインだったのか？と思い始めたらどうにも落ち着かなくなり

「う～ん・・・」と悩んでいると、隣にいたぼらひでさんが「迷ったら取り替えた方がいいよ」と背中を押してくれた。こうして急遽上〇屋に行き10号ラインを買ってきて現場で巻き替えた。

私は6本の竿を出しているが、ベイトとスピニングそれぞれ3本ずつだ。スピニングには12号が巻いてあり、今までアタリがあったのはほとんどスピニングだった。他の条件は度外視するとして、16号ラインと12号ラインとで圧倒的に差があったのだ。そこでとりあえずベイトリールだけ10号に巻き換えたのだった。

#### 4. H野さん、山羊ちゃん、秋田さん到着 (mi〇)

この日は天気に恵まれ最高に気持ち良かったのですが、日中はまったくアタリがなく時間が経過します。私は日頃の疲れから昼頃からはずっと昼寝をして過ごしました。その間にH野さんが到着し、上流側にセットしました。



夕方からバーベキューの準備を開始。煮込みマッチョさんは群馬では知らない人がいないくらい有名な永井食堂のモツ煮を持参し、温めてくれました。さらに中ソン

さんの本格ソーセージとステーキ、その他にオフ会定番の地鶏などなど、数々の食材が持ち寄られ、乾杯を今か今かと待っているところに山羊ちゃん到着。みんなで手分けして山羊ちゃんの竿のセットをした甲斐があり約10分で終了。改めて落ち着いて「いただきます〜す！！」いつものごとく、釣果よりも食欲優先だい！（笑）

みんなのお腹が一通り満たされた頃、秋田さんが到着。ショップが大繁盛のため最近は全く休みがなかったとのことで、今回のオフ会参加が一ヶ月ぶりの休みなのだそうです。またまたみんなで竿のセットを手分けしてあっという間に終了！ あとは飲めや喰えや・・・

0時頃、中ソンさんのすすめでエサチェックとコマセ撒きを行います。このポイントは夜中の1時頃にヒットする確率が高いそうで、それに合わせて一時間前に準備するのがベストとのこと。秋田さんがチェックのために自分の竿に近づくと、なんとセンサーが2つONに！ まさかセットしてすぐアタリがあるとは思っていなかったようで、受信機を持たないで飲めや喰えや・・・をしていたようです。残念ながら魚には逃げられていて、気を取り直してエサの付け直し。

その後、中ソンさんの予言通り1時にまたまた秋田さんのセンサーON。60cm台の鯉でした。

### 5. とりあえず・・・（煮込みマッコ）

日曜日は六時ちょっと過ぎに目覚めたが、何となく寝足りない気がしてそのまま横になっているとセンサーが鳴った。どういうワケか昨

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

夜秋田さんやぼらひでさんがなかなか起きてこない人をセンサーで起こすイタズラの話をして笑わせてくれたことを思い出し、きっとその手の冗談だろうと思っていたら本当に音が止んだ。「やっぱりそうか・・・」と安心したが、外はすっかり明るくなっているし、もう起きようかな？などとボーッとしながら考えているとまた「ピピピピピ・・・」。しょうがないなあと思い「いい目覚ましでした～」などと言ってやろうと思いながら竿のところに行くと誰もいないではないか。代わりに五番竿の穂先が下に向いていた。このセンサーはちょっとおかしい。リールからラインは出ていなかったが穂先はグイグイ引



っ張られている。上げてみると65cmくらいの鯉だった。ベイトリールだったので、ラインを巻き替えた効果なのだろうか？とりあえずボウズは免れたのでよかった。

### 6. さいごに (mi○)



最終日の日曜日はこの朝のあたりが結局最後となりました。途中で浮気釣りをする山羊ちゃんの浮気現場写真を地鶏さんが送ってくれましたので掲載しておきます。

(笑)

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

今回は残念ながらアオウオにはめぐり合えませんでした。またここに来たいと思わせる利根川の深い魅力を感じることができました。ぼらひでさんはまだ見ぬアオウオの虜になったらしく早速次回のアオウオ釣行計画を練っているようです。私も過去に何度か利根川釣行を経験していましたが、今オフ会の結果やはりアオウオを是非釣ってみたいとなりました。

今回のオフ会参加者は8名と久々に多く、とても楽しく過ごすことができました。再会を誓い合って16時頃、それぞれの帰路につきましました。



第 11 回 2004 年 1 月 24 日 荒川

参加：ぼらひでさん・市川市民さん・煮込みマッコさん・miO

1. 荒川への思い（煮込みマッコ）

オフ会に参加することを決めてから、昨年 11 月 16 日以来ずっと釣りから離れていた心がにわかにざわついてきた。だが、いかんせん真冬だ。しかもこの冬はやけに寒く感じる。歳を取ったせいだと言われれば否定のしようもないが、それだけではないはずだ。その証拠に、12 月は珍しく 2 回も雪が降った。いかに私の住む県が北関東の山国と言われるようなところだとはいえ、住んでいる場所は平野部だ。周りに見える山が真っ白に雪化粧しても、年明け前にこの辺りに雪が降るのは滅多にない。それだけこの冬は寒いのである。秋の終わりの長期予報で暖冬と言われていたのは何だったのか・・・

そんな思いを抱きながら本格的に準備に取り掛かったのは正月休みに入ってから。今回は都内での釣りということで、クルマは駐車場に置いて自転車で出撃すること。クルマに自転車を積み込んで行く必要がある。だが、私のクルマは天井にバスロッド用のロッドホルダーが付けてあり、鯉釣り用の竿は荷室の床に木で自作したロッドホルダーを置いて収納してある。これを撤去しなければ自転車は積めない。昨年利根川に通うためタニシを運んだときは、その箱を助手席やセカンドシートに置いていたのだが、臭いしかさばるし、荷室に置ければいいのにとずっと思っていた。いい機会である。鯉竿を天井に収納し、

もっと荷物が積めるスペースを確保するための改造をしよう。こうして釣り道具も自転車も積めるようになったのはオフ会の一週間前。

普段東京に行く場合はJRの高崎線を利用するのだが、赤羽の手前で大きな川を渡る。それが荒川である。ほとんど流れのないゆったりとした静かな水だ。こういう川を見るとなぜか落ち着く。家の近くには利根川が流れているが、毎秒2メートル近いほどの流速でどんなオモリも止まらない。平野部とはいえまだ「山の川」の様相を呈している。中学生の頃まではよくこの利根川でも釣りをしたもので、時々鯉も釣れたが、流れが強くオモリが止まらない釣りに落ち着きのなさを感じていた。オモリが止まる川で釣りがしたいと強く思った。そんな川を見て育った身としては小学生の頃見た釣り雑誌の鯉釣りの記事に出てくる利根川下流部や江戸川の広くてゆったりとした水は憧れだった。鯉釣りとはこういう川でやるものだと思いついて勝手に思い込んでいた。荒川もそうだった。電車で荒川を渡るたびに「この川で釣りをしてみたい」といつも思っていた。

今回荒川で釣りができる機会に恵まれ、自然と気合が入っていた。当日は少し余裕を見て早めに出発しようと思っていたが、前日の晩、あれもこれもと追加の荷物を用意していたら遅くなってしまった。少し仮眠を取るつもりでテレビをつけっ放しでウトウトしていて気が付いたら五時半！！寝過ぎた！！そもそもオフ会というものに参加するのは初めてである。遅刻したらそれこそみんなの印象を悪くする。集合時間は遅くても七時半。ギリギリである。

### 2. 夜明け（煮込みマッチョ）

着替えなどを済ませて家を出たのは五時四十分。高崎インターには何としても六時前には入りたい。順調に行けば間に合わない時間ではない。だが、首都高の出口を間違えたりすることを考えると、余裕はない。事故などで渋滞したら・・・そんなことを考えながら五時五十分には高崎インターから関越自動車道へ。それからは猛ダッシュ。道は順調だ。練馬の料金所に着く頃には空が明るくなってきた。外環も混んでいない。ラジオの交通情報でおなじみの地名が次々と通り過ぎていく。

首都高に入って間もなく目的の出口にたどり着いた。時計を見ると七時ちょっと前。出口の少し手前から恐れていた渋滞が始まった。この先で事故とのこと。ここでぼらひでさんに電話を入れた。この時点ではまだmi○さんも来ていないとのことだったので少し安心。程なくして車が少し流れたので無事に首都高を下りることができ、事前にぼらひでさんから教えていただいたコイン駐車場にも迷うことなく到着。何とか間に合った。いや、かえって丁度良かったかもしれない。あまり早く着いてしまったらどうやって時間を潰すか困っただろう。

### 3. 栃木より（mi○）

自動車道にのった頃には東の空がかすかに光を帯びていた。最近お気に入りのCDであるスーパートロンボーンの「Take Five」を流し、音楽に乗って快調に走る。今日は初対面のメンバーが2名参加する。

実に楽しみではあるが、ネット上で何度も情報をやり取りしているため本当の意味では初対面ではない。首都高に入ればしばらくするとぼらひでさんから連絡が入った。少し先を走っているマッチョさんが事故渋滞にはまっているとの情報である。手前のインターで降りて一般道を走ることにした。

### 4. いざ荒川へ（煮込みマッチョ）

クルマから自転車を下ろし、竿などの道具を搭載して待ち合わせ場所へ行くと、交差点の正面から自転車に何やらいろいろな物を積んだ二人組がやってきた。mi○さんとぼらひでさんだ。こちらも同じ状況なのだから向こうもすぐにわかったのだろう。お二人と顔を合わせるのは初めてだがサイト内やメールで何度もやり取りしているので初めて会った気がしない。ネット時代の独特のコミュニケーションだなあと、オヤジ的な感慨に耽りつつコンビニで買い物をした後、いざ荒川へ。それにしても本当に近い。5分だ。堤防を越えて河川敷に入ると先にバイクで来ていた市川市民さんとも合流。橋の下で改めて皆さんに挨拶。

### 5. 一匹目（煮込みマッチョ）

ぼらひでさんからひととおり場所の説明をしてもらった後、早速開始だ。時期が早いいためか他に釣りをしている人は近くにはいない。対岸に一組見える程度。だが後ろのグラウンドでは草野球チームの人たち

が練習をしていて、結構賑やかだ。私は一番実績のある場所に入らせてもらった。感謝をしつつ2本のピトンを打ち込む。橋の真下の下流側だ。mi○さんはその上流側。市川市民さんは橋の下流側で川幅が広がったところ。ぼらひでさんはそれより更に下流50mほどのところ。

いつも利根川でやるときは6本の竿を出すので、準備だけで大変だが、今日は楽である。到着したときは止まっていた潮が準備している間に下げ始めた。それとともに木の枝などのゴミが大量に流れてきた。餌のゴカイを針に付け、記念すべき今年の第一投をフワリとやった。遠投する必要がないので本当に軽く、投げ込むというより入れるという感じだ。2ヶ月ぶりのキャスティングだ。この瞬間が何とも言えない。真正面ではなく少し下流側に逸れて入ったが、あまり気にせず糸を張る。何度も投げ直すのは根がかりを増やすだけだと思ったからだ。鯉の通り道と思われる距離に入ったのでこれで待つことにした。この時点ですっかり寒さを忘れていた。釣りモード全開である。

間もなく下流側のセンサーが鳴ったが、ゴミが道糸に引っかかっていたのだった。糸をゆるめてやっても流れのため抵抗がなくならないので、センサーのスイッチから糸を外しておいた。「ゴミが引っかかっても釣れるときは釣れますよ」とぼらひでさんが言ってくれたのでそのまま投げなおすことなく待つことにして竿から離れ、5分くらいいただろうか。その竿がガツガツという感じで大きく揺れ、穂先がグイッと引き込まれた。明らかにアタリだ。竿を持って合わせると久

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

し振りの魚の引きを感じた。第一投目で来るとは幸先がいい。もう最高の気分だ。ほんの二時間前に焦ってクルマを飛ばしていたのがウソのようだ。後でこのときの時間をぼらひでさんに確認したら八時四十五分ということだった。流れに乗って下流に走るのを見たぼらひでさんから障害物があるから入られないようにとアドバイスを受け、竿を上流側に寝かせて相手をこちらに向かせた。すぐにゴミの間から浮き上がってきたのは紛れもなく本命の鯉。このすぐ上流側にも水没した杭があるとのことで、油断はできない。しかも今年の初鯉。必要以上に慎重になってしまう。だが、ぼらひでさんに玉網入れをしてもらいひと安心。丸せいご20号が見事に上顎に掛かっていた。丸々と太った鯉だ。サイズは77cm。満足だ。これだけで来た甲斐があった。miOさんに写真を撮ってもらいリリースした。



この後午前中のうちにもう一回、同じく下流側の竿にアタリがあったが、今度は杭に巻かれたらしく糸を緩めてしばらく待ったが出てこなくて結局切ることになってしまい、少し残念だった。結局この日は上流側の竿には一度もアタリがなかった。このようなことは釣りをし

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

ていればよくあることだが、同じようなポイントに入れているのに不思議なものだ。途中、市川市民さんとゴカイ掘りに熱中し、海に近い川の面白さを味わうことができた。

### 6. 橋の下 (miO)

午後に入り潮も上がり始めた。橋脚の上流側に2本竿を出したうち、下流の橋脚寄りの竿に待望のヒット！ 時刻は2時45分。 前回の荒川釣行（1月3日）でも同じポイントに竿を出したが、下流寄りヒットしている。ここはむしろ橋の真下でヒットするのかもしれないと感じた。

### 7. 3時過ぎ (ぼらひで)



やがて時間は3時を過ぎ、市川市民さんタイムアップ。釣果に恵まれず申し訳ないことをしました。市川市民さん、また一緒に釣りしましょうね！

私は管理人殿の判断を素直に受け入れ、今まで釣れなかった橋の下に竿を移動する。するとどうだ！ 投入後わずか10分ほどでヒット！ サイズは網枠より小さいサイズだったが、釣果があったことが嬉しい！やはり、数年間通っていて自分の中でここは釣れないという固定観念があった。他人の眼や考えなど

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

素直にアドバイスは受け入れるべきだと思った。管理人殿ありがとうございました。しかし、ここ専用のタックルを買うことになったら少し補助してね（大笑）

### 8. コロコロ体型（煮込みマッコヨ）

みんなコロコロしたかわいらしい体型の鯉だった。横に寝かせても自力で縦に起き上がってしまうくらい腹が横に張り出していた。ゴカイをたらふく食べているのだろうというのがみんなの一致した意見だった。市川市民さんは三時ごろ所用のため先に撤収とあいなったが、



この場所が気に入ったらしく、一人でも来たいと言っていた。私も気に入った。竿が二、三本で十分というのも魅力だ。機会があればもっといろいろなポイントで釣り方を試してみたい。

### 9. おわりに

（ぼらひで）煮込みさん、市川市民さん、管理人殿、今日の釣果に懲りずまた機会があったらいらしてくださいね！しっかしさあ、今年は釣れないなあ・・・参った・・・一日に一匹しか釣れないもんねえ。今年に入ってからこのポイントで複数釣った人が誰もいないなんて珍しい記録だと思う。誰かこの記録をやぶりに来るううう（爆笑）



## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

(煮込みマッコ) 今年に入ってから荒川は低調ということで、地元のぼらひでさんは今回のオフ会の釣果を心配していたが、私個人としては大満足なオフ会だった。温かいものもご馳走になり、本当にお世話になりました。また機会がありましたらご一緒させてください。

(mi○) 私もとにかく満足なオフ会だった。すべて準備をしてくれたぼらひでさんは、皆に釣果がないと申し訳ないというプレッシャーを感じておられるようだが、釣果は時の運！それよりも、新しくお二人にお会いでき、河原で語り合えたことが何より嬉しく思います。またお会いしましょう。



